

松阪市子ども支援研究センターだより

松阪市子ども支援研究センター〈TEL. 26-1900 FAX. 26-1901〉
E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>
松阪教育支援センター「鈴の森教室」「やまゆり教室」
〈TEL 26-1900 FAX 26-1901〉 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp

教職員の新たな学びに向けて

少子高齢化や人口減少、ICTの活用やグローバル化などにより、家庭環境や教育環境といった子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、子ども一人ひとりが抱える課題も複雑化、多様化しています。このような社会変化の激しい時代を生き抜くことができる力を子どもたちに育むために、学校での指導・支援の向上、家庭や地域との連携や協働、意欲的に学べる学習環境の整備が求められています。

教育環境としての最大の要因は「教職員の資質」であり、その向上は直接的に子どもたちの学びに活かされると考えています。教員免許更新制度が発展的解消となり、「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励」が本年度より始まっていますが、これからの「新たな教師の学びの姿」として、主体的な学び、個別最適な学び、協働的な学びが必要であることが示されています。その一助となるべく、当センターの重要な役割として、現場の先生方のニーズを把握するとともに今日的な教育課題を踏まえ、県や大学、様々な専門機関と連携しながら、研修講座を構築しています。

本年度6～8月に開催しました夏季研修講座では、昨年度より約3割増の1328人の方に参加いただきました。一部、開始時刻の変更等ご迷惑をおかけしましたが、ご理解・ご協力ありがとうございました。事後アンケートでは、26の講座で平均98.5%の方に「満足」とのご感想をいただきました。また、先生方が自主的で意欲的に参加でき、タブレットへの不安や悩みの解消、また先生方の「やってみたい」を支援できる研修をめざし、本年度も「GIGA_LAB 研修会」を開催しています。

これまで開催してきた研修会をご紹介するとともに、成果や課題について振り返り、先生方の絶え間ない研究と修養をさらに広げ、深めていくことができるよう、取組を進めてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

研修講座報告 ～講座の様子を一部ご紹介します！

B-2 探究的な学びを実現する「生活・総合」の新しい授業づくり

講師 田村 学先生

学習指導要領改訂の方向性、資質・能力の育成に向けて期待される学び、主体的・対話的で深い学びなど、生活や総合的な学習の時間における探究の授業づくりについて具体的な実践例を挙げながら教えていただきました。



子ども支援研究センターにて

「深い学びについてイメージができました」「out put の大切さを再認識しました」「課題設定の事例からたくさんアイデアをいただきました」「考えるための手立てがよく分かりました」「『音で広げて、文字で刻む』という言葉が印象に残りました。これからの実践に取り入れていきたいと思えます。」

参加者の声

A-4 児童生徒が理科の問題解決過程で見方・考え方を働かせる指導のあり方

講師 杉澤 学先生

対話的な学びのための深い教材研究についてご教授いただき、子どもの考える力を伸ばすために、教師は介入しすぎず、サポートしていくというスタンスを教えてくださいました。実際に、参加者は風で動く車を作り、実験を通した授業づくりを体験しました。



鎌田中学校にて

「子ども主体で仮説を立て、観察・実験を計画していくこと」「ワークシートに頼るのではなく、自分たちで試行錯誤しながら実験を計画し実践していく」「ふりかえりのノート指導で、子どもの学びを進めさせることが、個別最適化になる」「単元の本質をとらえる」「試行錯誤が大事、やってみたらいい」

講師先生の言葉

B-16 保育・教育現場が抱えがちな問題への対応 ～カウンセリングにおける考え方とその対応～

講師 大竹 直子先生

「関係をつくる」ための考え方、安心できる関係のための傾聴と受容、保育現場がかかえがちなケースへの考え方と支援、発達障害の疑いがある子どもをもつ保護者理解などについて、臨床心理士・公認心理師としての知見をお教えいただきました。



子ども支援研究センターにて

「常に真ん中に子どもがいる距離感、関係性が大切だということが確認できました。」「肯定せず、否定せず、ありのままに受け止める受容から安心できる関係づくりが生まれることがよく分かりました。」「クレーム対応時には、状況説明から始めないよう心掛けたいと思います。」

参加者の声

GIGA LAB 研修会 放課後 60 分で学ぶ！タブレット端末活用研修

- 第1回「はじめよう！タブレットの活用術。授業、家庭学習、校内研修に！」(6/15)
内容:タブレット、アプリの基本的操作方法や授業での活用方法について
- 第2回「タブレットを使った家庭学習どうすればいい？」(6/29)
内容:家庭学習で使えるアプリ操作 活用場面の紹介について
- 第3回「GIGA スクール構想の今」(7/13)
内容:GIGA スクールに係る国の動向について
- 第4回「デジタル時代における自己調整学習」(8/28)
内容:デジタルドリルを活用した自己調整的な学びについて(講師:玉川大学久保田善彦教授)
- 第5回「伝える技(Keynote を使って)～より効果的にプレゼン資料を作成するには～」(10/13)
内容:伝わりやすいプレゼン資料の作成に関わるポイントについて
- 第6回「デジタルシティズンシップってなに？」(11/2)
内容:コンピュータ1人1台時代の善き使い手をめざす学びや実践方法について
- 第7回「苦手克服！得意を伸ばす！～e ライブラリの様々な機能を紹介～」(11/27)
内容:学習履歴やおすすめ学習などの活用方法について
- 第8回「スタディサプリを使った個別最適な学習や学習意欲向上に向けて」(12/11)
内容:授業内での活用事例や発展的な活用方法について
- 第9回「プログラミングフェスティバル in KOSHIKEN」(1/12)
内容:プログラミングロボットの紹介と体験
- 第10回「プログラミングフェスティバル in KOSHIKEN ②」(1/29)
内容:プログラミングロボットの紹介と体験



第3回講師 楠本 誠先生

子ども支援研究センターにて